

ちさと会を開いて

十九年卒 山本 平八郎

平成二十二年十一月七日、二百三十名の参加で千里阪急ホテル千寿の間にて開く事が出来ました。

前年九月末に武田(十二年卒)・富田(十三年卒)・小川(伊達十七年卒)さんら数名の方から千里山駅前の音羽館で『ちさと会』の先細り状態を再生して欲しいとの要請を受けましたが、今まで仕事の都合で一度も出席していなかったもので、どのような参加者や運営の形態も解らず戸惑いました。唯、私は千里山生まれの千里山育ちで八十年近くこの地で過ごし、近々千里山公団住宅の建替え工事に伴い、新しく千里山駅東側に広場が出来ると聞いており、ここに千里山文化の発祥の施設建設に協力出来たらいいなあと思っている時でもあり、この千載一遇のチャンスには是非恩返ししてはと柄にも無い事を思いつつ千二小学校の卒業生達の意見も聞ける機会が出来るのではと考え、お受けする事にしました。

当日の世話人メンバー

- 一七年・小川(伊達)
- 一九年・北川・森田・山本
- 二〇年・岩井・市川
- 二一年・波田・中村(北浦)
- 二二年・松井(林)
- 二三年・木谷・松村
- 二四年・荒木・樺山(三笠)
- 二五年・口羽・蒲生・岸本(民野)・林
- 二六年・浦野(早川)
- 二七年・立木
- 二八年・生間・山本
- 二九年・井上・藤木
- 三〇年・瀧(大森)・船引・細見・森本
- 三一年・西田
- 三二年・斉藤(神屋敷)
- 三三年・神徳(村)・民野・堀田
- 三四年・阿倍
- 三六年・筒井・永田(甲斐)
- 三七年・安達・海賀



阪急ホテル 千寿の間 ちさと会

取り敢えず『ちさと会』と『千里山会』の会員名簿を基に昭和一七年卒生から三七年卒生(還暦を迎えた方々まで)に声をかけ、年次毎の世話人が揃い五月に第一回の会合を千里山会館で開き、以後数回の会合を重ねる毎に議論百出から案件が次々と決まり、十一月七日当日午前九時には世話人達は勢ぞろい。予想を上回る大勢の仲間の会が始まりました。千二小学校の卒業生は素晴らしい、全て先読みの出来る仲間当初の危惧もスムーズに運び、藤木(二九年卒)・神徳(三三年卒)さんの司会、当会創始者の武田さんの乾杯の音頭で宴会の開幕。井上さん(二九年卒)グループのフォークバンドで楽しいメロディをバックに昔の仲間と語り合い、隣近所の人たちと懐かしい昔話に笑いあつての二時間。とりには小川さん率いる会員有志のコーラス。最後は岩橋さんのお元氣な素晴らしい語り口でお開きとなりました。

当日の様子は孤軍奮闘の森田(一九年卒)さんのカメラに収まっております。

大満足とはいかないまでも納得して頂ける会ができたと自負しております。

次回は二三年五月頃の予定です。